

子供・歩行者を事故から守る新しい防護柵

KOBELCO
神戸製鋼グループ



生活道路用柵



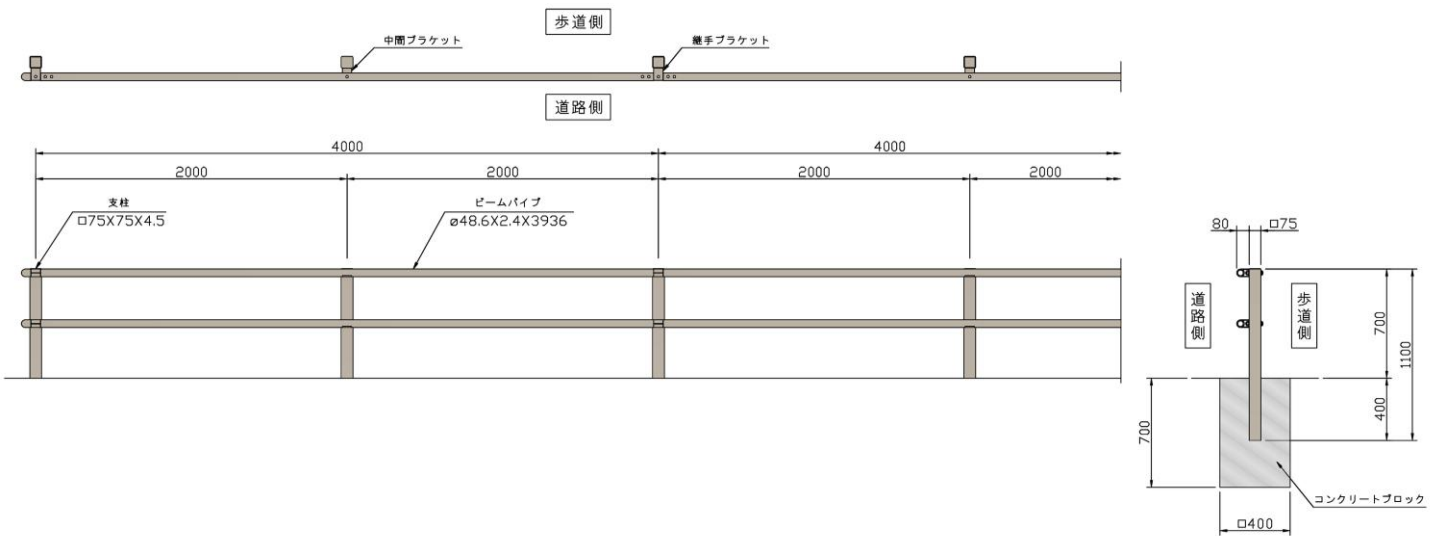
「防護柵の設置基準・同解説」改訂

約8年ぶりに「防護柵の設置基準・同解説」が平成28年12月に改訂されました。

幅員が狭い道路の歩車道境界に設置し、歩行者を保護する『生活道路用柵』が追加されました。



構造



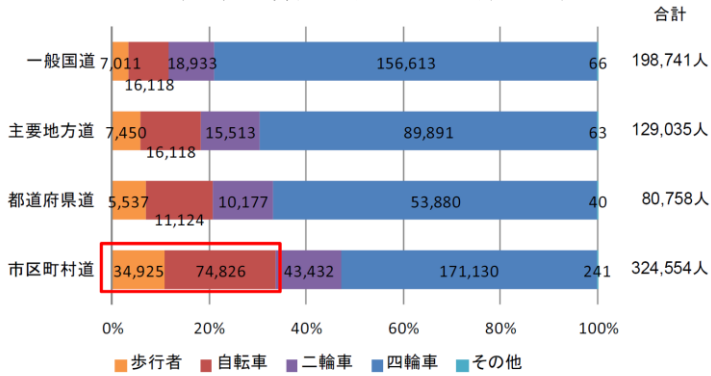
神鋼建材工業株式会社

URL <http://www.shinkokenzai.co.jp/>

本社・工場	〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46番地	TEL.06-6418-2621	FAX.06-6418-6701
北海道支店	〒060-0004 札幌市中央区北四条西5丁目1番3号(日本生命北門館ビル)	TEL.011-221-6368	FAX.011-222-7180
東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目2番25号(仙台NSビル)	TEL.022-263-2271	FAX.022-225-5449
東京支店	〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目3番17号(MOMENTO SHIODOME)	TEL.03-5777-2950	FAX.03-5777-2951
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目2番28号(名古屋第二埼玉ビル)	TEL.052-533-2757	FAX.052-562-7410
大阪支店	〒541-0041 大阪府中央区北浜2丁目6番18号(淀屋橋スクエア)	TEL.06-4300-7401	FAX.06-4300-7409
九州支店	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1番1号(新幹線博多ビル)	TEL.092-431-8424	FAX.092-474-1857

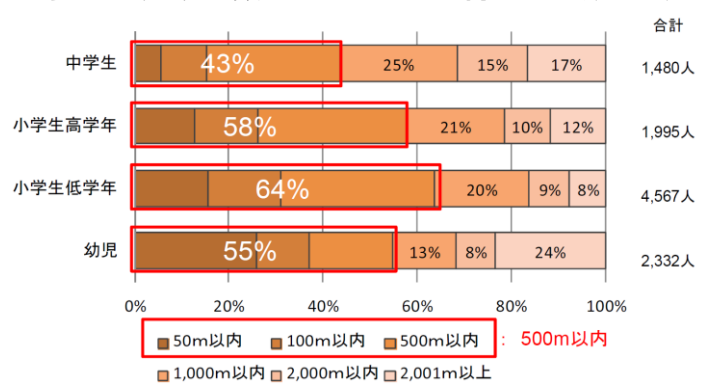
生活道路用柵の必要性

道路種別別死傷者数の状態別内訳(H25)



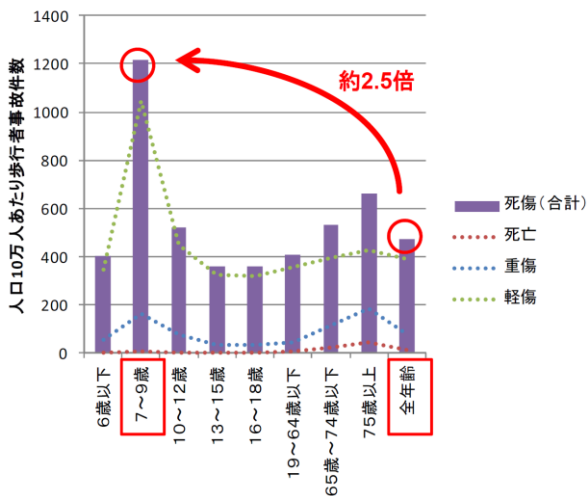
生活道路（市区町村道等）では、幹線道路（国道、県道等）に比べて歩行者や自転車の交通事故の割合が多い

歩行中死傷者数の自宅からの距離別内訳(H25)



小学生の歩行中の交通事故は、自宅から500m以内で約6割が発生

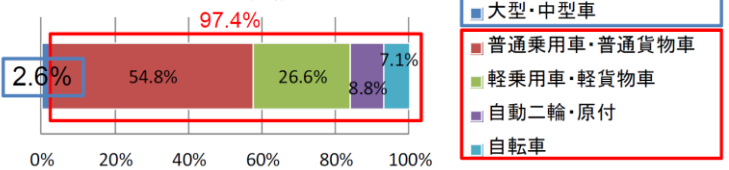
年齢層別人口10万人あたり歩行者事故件数(H25)



7~9歳の年齢層は、交通事故の割合が、全体平均の約2.5倍多い

生活道路で発生する人対車両事故(H25)

一事故をおこした車種構成割合



生活道路の交通事故の殆どは普通乗用車以下の軽い車両である。(97.4%)

このような交通事故の実態を踏まえ生活道路用柵を開発

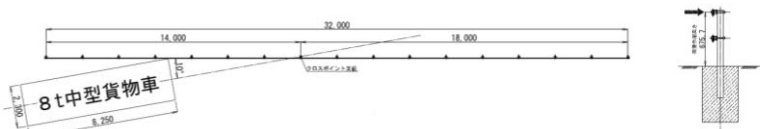
「生活道路用柵」のねらい

- 生活道路において、車両が歩道に突っ込む事故から歩行者を守る事を主目的。
- 生活道路の交通事故の実態等を踏まえて設計条件を設定する。
- これにより、一般的なガードレールに比べ、断面幅が小さく、生活空間に馴染む威圧感の少ない構造となり、生活道路でも設置しやすい防護柵となる事で、効果的・効率的な交通安全対策が進む事を期待する。

衝突実験

- ・ 日 時 : 平成27年2月10日
- ・ 場 所 : 国土交通省国土技術政策総合研究所(茨城県つくば市)衝突実験施設
- ・ 実験内容 : 防護柵へ実車衝突させ、防護柵の強度性能・変形量、車両挙動を確認

衝突実験の概要
 ・ 衝突車両 中型車(8トン)
 ・ 衝突条件 衝突速度 40km/h、衝突角度 10度



衝突実験では、車両衝突に対して、主に強度面から防護柵の機能を確認する。



衝突実験の様子



出典：生活道路向け防護柵の実車衝突実験(捕捉説明資料)国土交通省 国土技術政策総合研究所